

デマンド便の稼働率は四〇%前後で推移

市の地域公共交通活性化協議会で中間報告

上越市地域公共交通活性化協議会が22日開催され、7月から吉川、頸城、安塚の3区で取り組まれている路線バス見直し実証運行についての中間報告が行われました。

報告で明らかにされたのは、7月から10月までの運送収入の変化、7月から11月までのデマンド便の利用状況などです。ここでは、吉川区での実証運行に関する部分についてお知らせします。

まず、運送収入です。前年と比べるといずれの月も減りました。一番減ったのは7月で、前年の123万円が103万6000円へと15・8%も落ち込みました。減り具合が一番少なかったのは10月、117万円から113万4000円へと3・1%減少しています。4ヶ月間の平均では、9%の減少率でした。ただし、デマンドバスの導入などにより、キロ当たりの収入は伸び、前年のキロ当たり81・7円から96・7円へと18・4%も伸びました。

次にデマンドバスの利用状況です。これは下段の表をご覧ください。デマンド便は毎月150便から170便、運行されました。稼働率は37%台から40%台です。同じくデマンド便が運行された安塚区では、20%から24%の稼働率です。吉川区の方が高くなっています。8月に利用者が多くなっているのは、中学生の皆さんが部活をするにあたって利用したからという事です。

路線バス見直し実証運行は来年3月末までとなっています。利用者の声を聞きながら、改善すべきところは改善していくということですので、意見や注文がありましたら、区総合事務所の総務・地域振興グループに遠慮することなく出しましょう。なお、来月にはアンケートも実施するそうです。

保守系会派も後期高齢者医療制度の速やかな廃止求める請願に賛成

衆院選後、国会だけでなく市議会でも大きな変化が起こってきています。

12月議会の最終日のこと。後期高齢者医療制度を速やかに廃止してほしいという請願の採決が行われました。

この採決では、日本共産党議員団、市民ネット改革、無所属議員のほか、保守系派といわれている毘風（びふう）所属議員も賛成に加わりました。

結果は賛成が17人で、採択までには数人足りませんでした。市執行部もびっくりした表情をしていました。

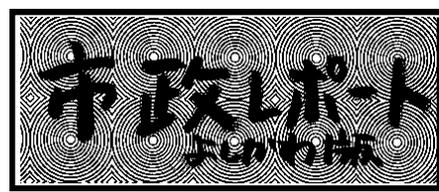
市長のページが変わります

上越市のホームページのなかの「市長のページ」は市長日程などだけでつまらない。もっと充実すべきだと一般質問でとりあげました。



村山秀幸市長は、「私の思いなどの発信も含め、早急に研究してみたい」とのべ、充実、改善に向けて動き出しました。

●吉川区のデマンドバス利用状況											
吉川区	7月		8月		9月		10月		11月		
	①		②		③		④		⑤		
デマンド便数	172 便	利用割合	167 便	利用割合	155 便	利用割合	167 便	利用割合	155 便	利用割合	
(稼働率)	(38.4%)		(40.7%)		(37.4%)		(40.7%)		(40.0%)		
運行便数	予約なし	56 便	84.8%	62 便	91.2%	50 便	86.2%	58 便	85.3%	52 便	83.9%
	予約あり	10 便	15.2%	6 便	8.8%	8 便	13.8%	10 便	14.7%	10 便	16.1%
	計	66 便		68 便		58 便		68 便		62 便	
利用者数	予約なし	114 人	89.8%	295 人	97.7%	142 人	92.8%	147 人	84.5%	147 人	93.0%
	予約あり	13 人	10.2%	7 人	2.3%	11 人	7.2%	27 人	15.5%	11 人	7.0%
	計	127 人		302 人		153 人		174 人		158 人	
1便当り	予約なし	2.04 人/便		4.76 人/便		2.84 人/便		2.53 人/便		2.83 人/便	
	予約あり	1.3 人/便		1.16 人/便		1.38 人/便		2.70 人/便		1.10 人/便	
	計	1.92 人/便		4.44 人/便		2.64 人/便		2.56 人/便		2.55 人/便	



NO 1429
2009.12.27

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一
Tel 548-3628 (有線) 4867
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/